

ソフトウェアの利用

マイクロソフト製品

マイクロソフト社とのライセンス契約の元、在学中は個人所有のコンピュータ 1 台に限り、Office 製品（文書作成ソフトウェア Word、表計算ソフトウェア Excel、プレゼンテーションソフトウェア PowerPoint など）を使用することができます。Office 製品は、「コンピュータ操作の基礎」の 1 週目にインストールし、5 週目以降に使用方法を学習します。

詳しい情報：<http://mercury.kanazawa-it.ac.jp/dpc/msvl/>

マスワークス製品

マスワークス社とのライセンス契約の元、在学中は個人所有のコンピュータ 4 台まで、科学技術計算ソフトウェア MATLAB とシミュレーションソフトウェア Simulink を利用することができます。オプション製品が豊富に用意されているため、数式処理、画像処理、統計処理、シミュレーションなど幅広い分野で活用することができます。バージョン R2015b のインストーラを入学時に配付されるアプリケーションディスクに収めてあります。使用するにはマスワークス社のアカウント作成が必要です。

詳しい情報：<http://mercury.kanazawa-it.ac.jp/dpc/matlab/>

情報モラル

情報社会では日々の情報化の進展に伴い人々の生活が便利になる一方、予期せぬ危険にさらされることがあります。そのような情報社会の特性を理解してさまざまな場面で正しい判断をし、適切な利用ができるように情報モラル（情報社会で適切な活動を行うための基になる考え方と態度）を身に付けておく必要があります。情報社会で必要とされる行動規範には、具体的なルールや行動指針が示されています。本学では、ネットワーク利用規範と情報セキュリティポリシーを定めるとともに、情報倫理（インターネットを活用する上でのルールやマナー）に関する学習コース (INFOSS) の受講を通して情報モラルを修得します。

金沢工業大学学園コンピュータネットワーク利用規範

<http://mercury.kanazawa-it.ac.jp/dpc/rule.html>

学校法人金沢工業大学の情報セキュリティポリシー

<http://mercury.kanazawa-it.ac.jp/dpc/policy.html>

情報倫理に関する学習コースの利用案内 (INFOSS)

<http://mercury.kanazawa-it.ac.jp/dpc/infoass/>

【参考】学部 1 年次前学期開講科目「コンピュータ操作の基礎」教科書 情報社会における倫理